

データヘルス計画

健康保険組合は事業主(会社)と協働して健康づくりを応援します!

～被保険者の「メタボ領域流入抑制」と「重症化予防」に向けてアドバイスシートを送付いたします～

当健康保険組合では、データヘルス計画の一環として、健康に対する気づきを促し、生活習慣を見直すことを目的とした保健事業「メタボ予測分析(メタボ領域流入抑制)」と「非メタボ(重症化予防)対策」を事業主(会社)と連携して実施しております。

今年度も、被保険者の方を対象に、過去3年間の健診結果(会社の定期健康診断や人間ドックの特定健診結果)から、今後メタボになる可能性の高い予備群の方と血圧・血糖・脂質が基準値以上の重症化リスクのある方に、生活習慣改善に向けた専門職の的確なアドバイスを記載した「アドバイスシート」を送付します。

アドバイスシートは、1月下旬～2月に事業主(会社)経由で個人宛てに送付されますので、受け取られた方は、今一度ご自身の生活習慣を振り返り、次回の健診に向けて、アドバイスを参考に改善に向けたアクションを取るようによみましょう。

マイナンバーの提供はお済みですか? ご協力をお願いします

平成28年1月からマイナンバー(社会保障・税番号)制度が始まり、現在、健保組合では加入者の手続きの簡素化や利便性の向上、また市町村等との情報連携に向けて、随時マイナンバーを収集させていただいています。

マイナンバーは原則、加入事業所(会社)より取得しますが、まだ未提出の方は「健康保険被扶養者 個人番号(マイナンバー)届」にて速やかに各事業所へご提供をお願いします。



知っとく
納得

医療費
節約術

医療費は『病気を治すために必要な出費だから節約できない』と思いきんではいませんか。実は少しの工夫で大きな差がでることがあるのです。

ジェネリック 医薬品に 変更しよう

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、先発医薬品の特許期間が満了したあとに、他のメーカーが同じ有効成分で製造・販売する医薬品です。研究開発のための莫大なコストがない分、価格は新薬よりも3～5割程度も安く、有効性や安全性、品質も同等です。とくに、高血圧、脂質異常症、糖尿病など慢性疾患の治療薬を服用している方は、ジェネリック医薬品にすることで、医療の質を落とさずに多額の薬代を節約できます。

もし薬を変えることに不安がある方は、短期間だけジェネリック医薬品を調剤してもらい、体調の変化などがいないかを確認する「お試し調剤」という制度を活用してみましょう。

薬代の節約は医療費の節約はもちろん、皆さんの保険料や税金の負担減にもつながっています。



※ホームページ「かんじゃさんの薬箱」(<http://www.generic.gr.jp>)では、自分の飲んでる薬がどのくらい安くなるかが分かります。